

## 地下水浄化に係る追加対策工事の進捗状況

### 1 追加対策工事の状況

本事業にかかる汚染地下水の浄化対策については、令和4年度の特定支障除去等事業の終了期限を見据えて、令和3年8月頃の現場地下水環境基準達成を目指している。

しかしながら、平成30年度に汚染水の浄化対策に係る第2次評価により、これまでの浄化対策では上記目標を達成できないと評価されたため、さらなる追加対策工事として、新規大口径注水井戸4基の施工を実施している。(第2次評価内容に係る説明：第61回協議会、追加対策工事内容に係る説明：第62回協議会)

### ○施工済み工事（平成31年3月～令和元年8月実施）

工事内容	仕様			
試掘ボーリング	計8本 φ86mm 各試料のローム層（遮水層）及び風化凝灰角礫岩層（第二帯水層）について、1,4-ジオキサン溶出量試験等を実施。			
集水井戸	口径	深さ	対象帯水層	設置箇所
LIW-1	3.5 m	12.2 m	第二帯水層	高濃度範囲北側
LIW-2	3.5 m	12.8 m	第二帯水層	局所的高濃度箇所
LIW-3	3.5 m	12.9 m	第二帯水層	局所的高濃度箇所
LIW-4	3.5 m	13.0 m	第二帯水層	高濃度範囲南（下流）側
地上部配水管	1号雨水貯留池から各井戸の計約500m			

### 2 新規大口径注水井戸4基の運用状況について

注水準備が整ったものから、順次運用を開始している。

（令和元年9月6日（金）以降、順次運用開始）

### 3 その他の工事について（注水量の確保）

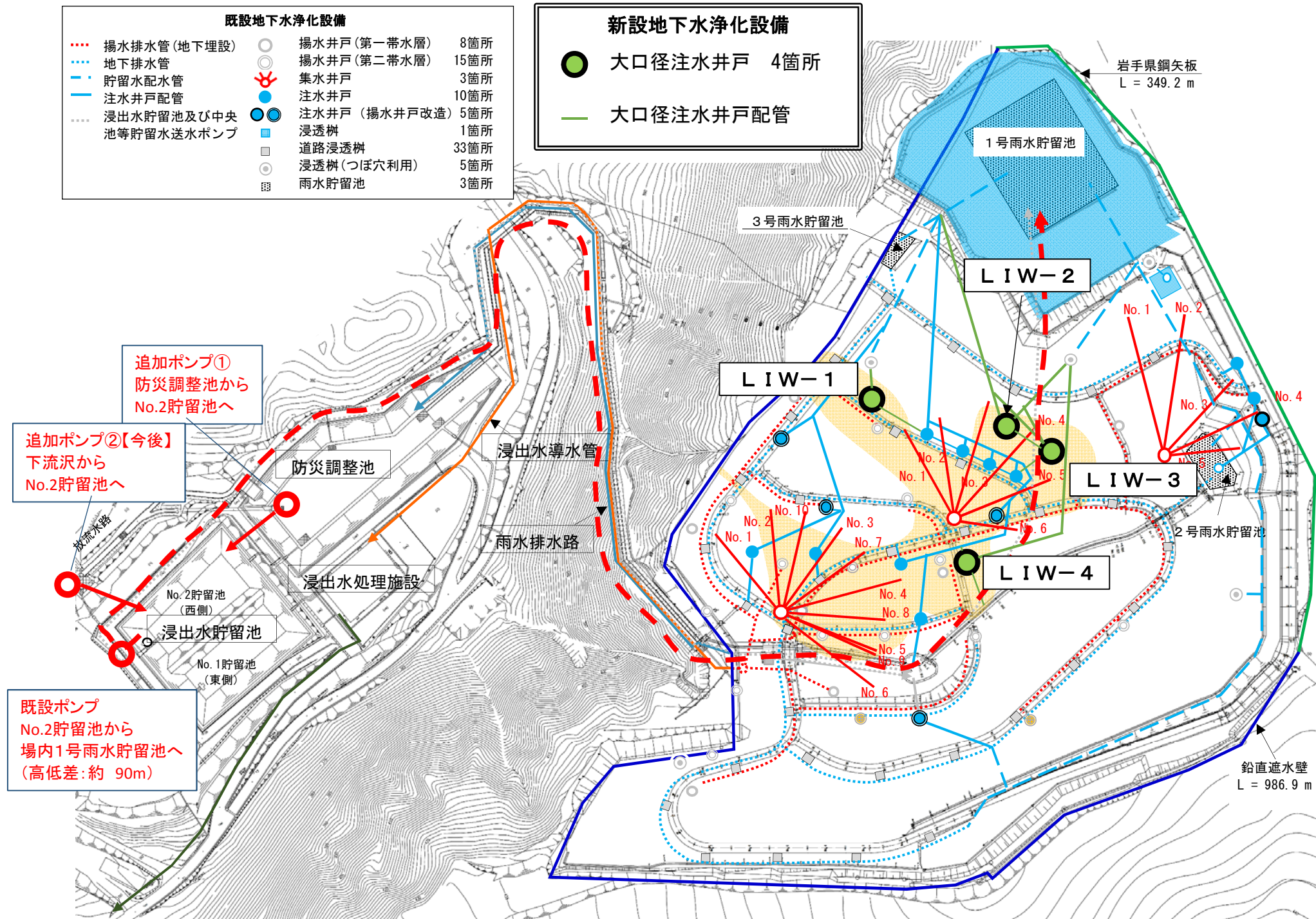
降雨量が少ない時期でも注水量を確保できるよう、以下の対策を行っている。

- ・ 浸出水処理施設のNo.2貯留池から場内1号雨水貯留池へ高低差約90mの揚水（揚水：7月上旬～）
- ・ 防災調整池に釜場を設け、浸出水処理施設のNo.2貯留池へ送水（送水：7月下旬～）

今後、降雨がない時期でも注水量を確保できるよう、以下の対策を行う。

- ・ 防災調整池敷地内下流況に釜場を設け、浸出水処理施設のNo.2貯留池へ送水（送水：9月下旬～予定）

# 汚染地下水浄化に係る追加対策工事（H31）の概要



## 大口径注水井戸構造図

